

2009

平成21年

3月号

広報

きょうたんて

vol.60

無病息災と家内安全を願う

江戸時代から続く地域の伝統行事

相撲の化粧まわし姿で威勢よく地域を駆け巡る

（百度打ち）（丹後町十四ページ）



も く じ

産業・雇用支援

・休業中の技能習得を支援…………… 3

魅力発信

・丹後産コシヒカリ 2008 年産米ランキングで
西日本唯一の 2 年連続最高評価…………… 4
・京丹後市産の猪・鹿肉料理を披露…………… 5
・京丹後サワラ キャンペーン即売開始…………… 5

ボランティア

・院内ボランティア、学校支援ボランティア…………… 6

まちづくり

・タン5リンピック…………… 8
・下水道管申…………… 9
・市有財産の利活用…………… 9
・龍谷大学経済学部 報告会…………… 10
・地域が元気になるまちづくり講演会開催…………… 10

公共交通

・鉄道・バスダイヤを改正…………… 11

高校グラフィティ

・久美浜高等学校…………… 12

イベント

・五穀豊穡と無病息災を願い 百度打ち…………… 14
・厄よけと家内安全を願い 節分太鼓…………… 14
・丹後スキー大会…………… 15

安心・安全

・消防本部・消防団・地区合同防火訓練…………… 16
・多機能型消防車両を配備…………… 17

京都府のひろば

・地域で進めよう新型インフルエンザ対策…………… 18

研修生だより

…………… 19

健康ひとくちメモ

・お口の健康について…………… 20

まちの情報

…………… 22

提言

・まちづくり協議 地域振興策を提言…………… 23

ご意見箱

…………… 24

市立図書館

…………… 26

文化財

…………… 27

休業中の技能習得を支援
「丹後・知恵のものづくりパーク」などで講座開催

世界的な景気後退により地域経済への影響が懸念される中、市では国の「中小企業緊急雇用安定助成金」に追加助成し、休業を活用した「解雇の徹底予防」を図っています。

府および京丹後市では、休業を余儀なくされているかたが休業の間、さらなる技能の習得を図っていただくための研修として、「北部ものづくり人材・パワーアップ緊急対策事業」を



実施しており、丹後地域では、本市と共催で実施。昨年十月に本格稼働しました、府北部のものづくり産業における人づくり中核拠点「丹後・知恵のものづくりパーク」（峰山町荒山）および丹後地域職業訓練センター（大宮町河辺）で「機械金属スキルアップ講座」および「生産に関する基礎知識からマネジメントまでを学ぶコース」の二講座を実施しています。

「機械金属スキルアップ講座」では、機械図面の読み方や高精度機械測定、工作機械の活用方法など、また「生産に関する基礎知識からマネジメントまでを学ぶコース」では品質管理の進め方、生産管理、現場改善の基本手法などの講座を開講。各講座二十〜五十人の定員で行っています。

市では、今後も府および京丹後市 21 などと協働して人材育成研修会などを開催し、産業・雇用の安定に向けて努めることとしています。

講座に関するお問い合わせ先

（財）京丹後市 21 北部支援センター
（☎六九一三六七五）

休業を活用した「解雇の徹底予防」

「中小企業緊急雇用安定助成金」 対象額（基準賃金額）を全額助成

休業・出向などにかかる手当もしくは賃金などについて、国の定める対象額（基準賃金額）が全額助成となります。ただし、1人1日あたり雇用保険基本手当日額の最高額が限度となります。

急激な資源価格の高騰や景気の変動などの経済上の理由による企業収入の悪化から、生産量が減少し、事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主のかたが、雇用する労働者を一時的に休業・教育訓練または出向をさせた場合に、休業・教育訓練または出向にかかる手当もしくは賃金などの一部が国から助成されます。（＝雇用調整助成金制度）

国では、従来の「雇用調整助成金制度」を見直し、「中小企業緊急雇用安定助成金制度」を平成20年12月からの措置として創設。支給要件が大幅に緩和されたことに加え、助成率や教育訓練費が引き上げられました。

市では、この「中小企業緊急雇用安定助成金」の活用を促すとともに、国の助成金とあわせて、産業・雇用総合支援対策の一環として助成金を交付、対象額（基準賃金額）の全額助成により、雇用の確保および事業主のかたの経費負担の軽減を図ります。

国の中小企業緊急雇用安定助成金支給決定通知書がお手元に届いてから、市の助成金交付申請を行ってください。

お問い合わせ先

京丹後市商工振興課（☎69-0440）

「中小企業緊急雇用安定助成金」



休業手当または賃金に相当する額として、厚生労働大臣の定めた方法により算定した額の5分の4を国が助成。加えて5分の1を市が追加助成し、対象額（基準賃金額）の全額を助成するものです。

さらに教育訓練を実施した場合は、訓練費用として1人1日 6,000円 が国から加算されます。

日本ジオパーク
記念式典



日本ジオパーク記念式典
〔後列右から3人目、中山京丹後市長〕

山陰海岸ジオパーク（京丹後市）
日本ジオパーク認定証を授与

地球活動の遺産を主な見所とする自然の公園として、地質資源の保護と活用をめざす日本ジオパーク記念式典（主催・日本ジオパーク委員会）が二月二十日、東京大学（東京都文京区）で開催されました。日本ジオパークに初めて認定された山陰海岸をはじめ、全国七地域へ日本ジオパーク認定証が贈られました。

式典には、認定された七地域の代表者が出席。尾池和夫同委員会委員長（元京丹後市長）から認定証が手渡されました。その後、尾池委員長による基調講演が行われ、その講演の中で「認定地域の自治体を中心にジオパークを広報する活動が展開されている。山陰海岸ジオパークの京都府京丹後市においても、市広報紙によるジオパークの紹介や地元高校の教員によるわかりやすい地質講演会の開催を行っている」とプロジェクトに広報紙などを映して特別に紹介されました。また、基調講演終了後、山陰海岸ジオパーク推進協議会会長（中具宗治豊岡市長）により、山陰海岸の特徴なども紹介され、ジオパーク活動が全国で発展していくことを強く期待できる式典となりました。



丁寧に「ジビエ料理」を盛りつける山形さん

京都市内の一流フレンチレストランシェフ「ビストロ山形」
京丹後市産の山形隆さんが猪・鹿肉のフレンチ風『ジビエ料理』を披露

有害鳥獣の農作物などへの被害が深刻化し、捕獲した個体の有効活用が求められる中、京都市内の一流フレンチレストランのシェフ山形隆さんが、二月十五日、「ビストロ山形」(京都市中京区)で京丹後市産の猪・鹿肉を使った「ジビエ料理」の発表



『ジビエ料理』を披露

「ジビエ料理」とは
日本人には馴染みのない言葉ですが、狩猟によって確保された野生鳥獣の肉を使って調理された料理を意味します。しかもそれらの料理は、フランスはもとより世界各国において高級料理として位置付けられています。農耕民族の日本人とは異なり狩猟民族の西洋人などの食文化は「ジビエ」を抜きには語れません。

会(NPO)法人日本都市農村交流ネットワーク協会・京丹後市猪・鹿肉有効活用研究会・京丹後市共同開催を開催しました。

発表会には、中山市長をはじめ同ネットワーク協会・同研究会の関係者のみなさんなど計二十三人が参加。二十年以上の間、京都市内でフレンチ料理をつくり続けている山形さんが自慢の腕を披露しました。昨年の秋から研究・試作をしている猪の肉を使った煮込みロースト赤ワインソースや鹿肉の田舎風オムレツなどを味わいました。

山形さんは「猪はかなり肉質もよくおいしい。『ジビエ料理』は売り方一つだと思う。今後も家庭でできる『ジビエ料理』の研修に力を入れていきたい。また、京丹後産の猪・鹿肉と食材にこだわった料理をつくってみたい」と京丹後市の大ファンになっていたといいます。

魅力発信



(財)日本穀物検定協会が実施する二〇〇八年産米の「食味ランキング」が、二月十三日に公表され、全国の前百二十七の米産地銘柄の中から「丹後産コシヒカリ」が最高評価の「特A」ランクを獲得しました。

「丹後産コシヒカリ」が「特A」を獲得したのは七回目で、二〇〇七・二〇〇八年と二年連続で獲得したのは西日本で唯一です。

「丹後産コシヒカリ」は、京丹後市を中心に、宮津市、与謝野町、伊根町の二市二町で約三千五百畝の水田で府内全体の約四分の一にあたる約一万八千トンを収穫しています。

同ランキングは、全国の産地・品種について、米の粘りや香り、外観などに加え、食味官能試験の相対評価により品質を評価。特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」など、五段階で評価しています。二〇〇八年のランキングで「特A」を獲得した産地は、丹後産コシヒカリや新潟県魚沼産コシヒカリ、秋田県北産あきたこまちなど二十一点となりました。

丹後地域は、夏場の昼夜の寒暖の差が大きく、良質の水に恵まれるなど米の栽培に適していることに加え、農家

「特A」ランクを獲得した米21産地

道府県	地区	品種名	道府県	地区	品種名
岩手	県南	ひとめぼれ	新潟	上越	コシヒカリ
宮城	県北	ひとめぼれ	新潟	中越	コシヒカリ
宮城	県中	ひとめぼれ	新潟	魚沼	コシヒカリ
秋田	県北	あきたこまち	新潟	岩船	コシヒカリ
山形	内陸	コシヒカリ	新潟	佐渡	コシヒカリ
山形	庄内	はえぬき	山梨	峡北	コシヒカリ
山形	内陸	はえぬき	長野	東信	コシヒカリ
山形	庄内	ひとめぼれ	京都	丹後	コシヒカリ
福島	会津	コシヒカリ	長崎	県南	にこまる
福島	中通	ひとめぼれ	熊本	城北	ヒノヒカリ
群馬	北毛	コシヒカリ			

※すべての結果はホームページで公表しています。
http://www.city.kyotango.kyoto.jp/kurashi/oshirase/norinsuisan/noson_2/00005/20090217_index.html

特Aを獲得した産地と品種は次のとおり

この結果を弾みにして、市としてもおいしい米の産地としてのPRを積極的に行い、地域の活性化に結びつけるとともに、丹後地域の誇りとして今後もおいしく安全・安心な丹後産コシヒカリの栽培を支援していきます。

のかたが研修や携帯電話を使って生産管理情報を交換するなど米づくりにかかわった結果が今回の評価につながりました。

2008年産米 ランキング

おいしい米産地の証明

特A 西日本で唯一の二年連続最高評価を獲得

丹後産コシヒカリ

丹 後産コシヒカリを生産する農家を対象に米の品評を行う「平成二十年度丹後良食味米共励会」で優秀賞を受賞された市内の三人のかたに丹後産コシヒカリが二年連続「特A」を獲得した抱負をうかがいました。

圃場審査部門
大宮町新宮 井上喜久治さん

今後も関係機関の指導を受けながらこれまで以上に食味の向上や持続可能な米生産に取り組んでいきます。

外観審査部門
峰山町鱒留 徳田徳次さん

日本一おいしい米の産地として評価していただいた米を多くのみなさんに安全に安心して美味しく食べていただけるようがんばります。

食味審査部門
久美浜町芦原 西田嘉一さん

丹後の良質な水で有機栽培に取り組んでいます。毎年丹後産米が「特A」の評価をいただけるよう今後も栽培方法の研究を重ねていきます。



「京丹後サワラ」は市内のスーパーマーケットで販売されています

新たな食文化の創造へ

京丹後サワラ

市内のスーパーマーケットでキャンペーン販売開始

近年、日本海沿岸ではサワラ類の漁獲量が非常に多く、平成十八年から京都府が三年連続日本一の水揚げ量を誇っています。

サワラは、京丹後市でも大量に獲れますが、地元では食されることが少ない魚。「京丹後サワラの地産地消をすすめる会」では、サワラが「地元でも気軽に食べられる魚」として定着するよう、京丹後で獲れたサワラを「京丹後サワラ」と銘打ち、市内のスーパーマーケットでのキャンペーン販売を開始しました。

京丹後市6次産業創造プロジェクトチームでは、市の基幹産業である農林水産業(第一次産業)が加工・流通の第二次産業やサービスや小売りの第三次産業との連携・融合を図り、生産者の経営安定や雇用の創出をめざし、さまざまな取り組みを行っています。取り組みの一環として、日本海沿岸で漁獲量が大幅に増えているサワラ類に着目。安価な幼魚であるサゴシやヤナギを使った加工品開発やブランド化をめざしています。

このような中、サワラの地元での食文化創造をめざそうと、昨年十一月、水産関係者、小売業関係者、行政関係者で構成する「京丹後サワラの地産地消をすすめる会」を発足。一月から、市内での「京丹後サワラ」の消費拡大に向けた取り組みを本格化しています。

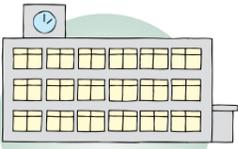
地域のみなさんの培ってこられた知識や技能を活用し、小・中学校での学習支援や部活動支援、安全確保の支援活動などを行う「学校支援ボランティア」の取り組みが始まりました。

「学校支援ボランティア」は、地域のみなさんにボランティアとして小・中学校への支援活動を実施していただくことで、地域と学校間の絆の醸成や学校を核とした地域の教育力向上、さらには支援活動を実施していただくかた自身の生きがいづくりなど、さまざまな効果が期待されます。

支援活動は、「学校支援ボランティアバンク」に登録していただいているかたの中から、支援を必要とする学校の求めに応じて実施。地域公民館に配置している地域コーディネーターが、学校と同ボランティアバンク登録者間の調整を行います。

平成二十年度は、モデル地区として大宮中学校区および網野中学校区で実施しており、二月二十日現在で九十七人のかたが同ボランティアバンクに登録。吹奏楽部の練習や、下校までの間の指導、読み聞かせなどの活動が行われており、学校を中心としたボランティアの輪が広がっています。

地域のみなさんの培ってこられた知識や技能を活用し、小・中学校での学習支援や部活動支援、安全確保の支援活動などを行う「学校支援ボランティア」の取り組みが始まりました。



みんなで支える学校
みんなで育てる子ども

学校支援ボランティア スタート

ボランティアの募集内容

教科指導補助	家庭科・技術科・美術科など
「総合的な学習」の時間の講師	畑づくり指導や地域学習など
クラブ活動指導支援	文化・運動系クラブ活動支援など
学校環境整備支援	剪定や草刈りなど
学校図書室整理支援	図書整理・読み聞かせなど
安全確保支援	登下校の付き添いなど

登録申請書は、社会教育課および各地域公民館にあります。詳しくは、社会教育課（☎69-0630）へお問い合わせください。

登録要件
十八歳以上のかたであれば、特に資格要件はありません。

教育やボランティア活動に関心のあるかたは、ぜひご参加ください



下校までの間、子どもたちの安全の見守りを実施（大宮第三小学校）

下校までの安全を見守り

大宮第三小学校では、授業終了から下校までの間、子どもたちが安心して楽しく過ごすことのできる環境づくりをめざし、学校支援を依頼。児童が自由に参加できる、放課後の読み聞かせやパズル遊びなどが、週に3回、ボランティアのみなさんの支援により実施されています。

読み聞かせボランティア「ハロウィン」の会員で同校区在住のかたを中心とした7人のボランティアのみなさんは、週に2回、本の読み聞かせや折り紙などで子どもたちと交流。3月末までに11回、下校までの約1時間を一緒に過ごし、子育て環境の充実に向けた支援をされています。

読み聞かせボランティア

網野南小学校では、1月～2月の毎週金曜日、7回にわたり「あみの図書館読み聞かせボランティア」のみなさんによる読み聞かせを実施。朝の10分程度の時間に、毎回5クラスずつで読み聞かせが行われました。読み聞かせがはじまると児童たちは話に夢中。終了時には「もっと話してほしい」との声があがるほど、熱心に聴き入っています。

「あみの図書館読み聞かせボランティア」からは11人のかたが「学校支援ボランティア」に登録。北村桃江代表は「子どもたちが一生懸命に聞いてくれるので、話しがいがある」と笑顔で話されました。



網野南小学校（三年組）で読み聞かせ（あみの図書館読み聞かせボランティア北村代表）



助けあい 与えあい 支えあいのまちづくり のまちづくり 広がるボランティアの輪

助けあい、与えあい、支えあいのまちづくりをめざす京丹後市では、これまでから取り組みの一環として、市民のみなさんに病院内で医師や看護師などと協力して行っていただく「院内ボランティア」や、学校を中心とした学習支援などを行っていただく「学校支援ボランティア」などに取り組んでいます。

市民のみなさんとともに 温かな医療をめざし

市立弥栄病院および久美浜病院では、地域に密着し、患者さんにとってよりよい環境の中で安心して医療を受けていただける病院づくりをめざしています。そのような中、患者さんや来院されたかたの心が和むなど、「温かな医療」の一つとして、地域のかたの協力のもと、「院内ボランティア活動」に取り組んでいます。

これまでに弥栄病院では、療養型病床の患者さんの移動介助やリハビリなどの作業補助、芸能の披露など、また久美浜病院では読み聞かせや紙芝居、ピアノや琴の楽器演奏など、多くのかたに、さまざまなボランティア活動を取り組んでいただいています。

温かな雰囲気づくりや患者さんの役に立ちたいなどのお気持ちのあるかたは、随時募集していますので、ぜひ院内ボランティアの取り組みにご参加ください。

院内ボランティアのお問い合わせ先
弥栄病院管理課
（☎六五二一〇〇三代表）
久美浜病院管理課
（☎八二一五〇〇代表）

～弥栄病院～

風景写真を展示

診察待ちの患者さんなどの気持ちが少しでも和らげばとの思いから、写真愛好グループ「京丹後友協会」のみなさんを中心に、待合所や廊下などに、風景写真約20点を展示。約3か月ごとに写真の入れ替えも行っていただいています。

来院されるかたは「きれいな写真で感激です」と話されています。



廊下や待合所に風景写真を展示

～久美浜病院通所リハビリテーション事業所で～

演奏ボランティア

「久美浜病院通所リハビリテーション事業所」では、施設を利用されているかたの誕生日会を毎月開催。誕生日会でのピアノ演奏ボランティアとして毎月1～2回、中西里美さん（久美浜町浦明）にご活動いただいています。

中西さんは、ハッピーバースデーのほか季節の曲を3曲披露。誕生日会の雰囲気を盛り上げておられます。

「温かい雰囲気の中で演奏させていただけるので、毎月の演奏を楽しみにしています」と中西さん。また利用者のみなさんは「心に響く演奏でとても素晴らしい」と感激。演奏に聴き入り涙ぐむかたもおられました。



2月の誕生日会でピアノ演奏（右・中西里美さん）



答申の内容を市長に説明される
高野繁一会長（左） 幾田章宏（右）

「久美浜東部簡易水道事業の創設認可および統合簡易水道事業」について、二月十三日、「京丹後市上下水道事業審議会」（高野繁一会長・十一人）から市へ答申をいただきました。

市では平成二十一年一月十五日、同審議会へ、久美浜町の佐濃田村簡易水道の水源（浅井戸）の新設や一部配水池の更新、佐野甲簡易水道の浄水場などの基幹施設の更新。また、今回の整備によって、現在の課題を解消するとともに、持続的な安定給水を図ることについて諮問し、同審議会から市長へ答申をいただきました。

■答申の内容は次のとおり
平成十六年の市町村合併により京丹後市が誕生し、現在三十四の簡易水道事業と八小規模水道と多くの施設を管理している現状から、当面の課題である女布浄水場の水源不足の早急な解消と老朽施設の改良等小規模施設の統合整備は必要であり、久美浜東部簡易水道の整備事業は妥当な計画であると評価する。

■諮問に係る付帯意見
現在の時代的背景として、人口の減少や世界同時不況等様々な要因から税収の伸びが期待できない中で、特別会計で水道事業を実施している独立採算の主旨を重く受け止め、原則受益者負担により事業を運営していくことがこれからの時代の要請であると考えられるので、今後、一般会計からの繰出金を最小限に止めるよう適切な料金水準及び受益者負担による長期にわたる安定経営の見通しを早急に検討されたい。

京丹後市
上下水道審議会

久美浜東部簡易水道事業の創設認可 および統合簡易水道事業について答申

市では、今後、いただきました答申に沿って、施策の検討・実施を行うこととしています。

■答申の内容は次のとおり

平成十六年の市町村合併により京丹後市が誕生し、現在三十四の簡易水道事業と八小規模水道と多くの施設を管理している現状から、当面の課題である女布浄水場の水源不足の早急な解消と老朽施設の改良等小規模施設の統合整備は必要であり、久美浜東部簡易水道の整備事業は妥当な計画であると評価する。

■諮問に係る付帯意見

現在の時代的背景として、人口の減少や世界同時不況等様々な要因から税収の伸びが期待できない中で、特別会計で水道事業を実施している独立採算の主旨を重く受け止め、原則受益者負担により事業を運営していくことがこれからの時代の要請であると考えられるので、今後、一般会計からの繰出金を最小限に止めるよう適切な料金水準及び受益者負担による長期にわたる安定経営の見通しを早急に検討されたい。

市民のみなさんにより信頼していただけるサービスを

市役所など八十二職場で

『二課一改善運動』を実施しています

市では、毎年、業務改革改善運動（タンゴリンピック）に取り組む中、今年度については、各職場において仕事のやり方や環境を改めて点検する中で、『まずはできることから』という視点から改善点を見つけ出し、一課で一つ以上の改善を計画・実行する「二課一改善運動」を実施しています。

この運動は、一月十三日から三十日までの期間、各職場からのエントリー（改善実行計画）を募集し、その結果、八十二の職場が参加しています。

各職場の改善実行は二月二日から三月十三日まで。その後は、各職場において改善の成果などを検証するとともに、事務事業などの見直し委員会（委員長・副市長）において優秀改善事例を選定。検証結果および優秀改善事例については更なる改善に繋がるよう職員間で共有します。

この運動により、市職員の業務改善意識の高揚を一層促進するとともに、市民のみなさんにより満足していただけるサービスの提供に努めています。

主な取り組み事例

業務マニュアルの充実

市役所や市民局などに来ていただいた市民のみなさんに、より迅速で的確な対応を行うため、業務マニュアルの整備・充実を図り、職員だれでも対応が可能な体制づくりを一層進めています。

【医療保険課、環境推進課、障害者福祉課、丹後市民局市民福祉課、久美浜市民局地域事業課、間人保育所】

職員スケジュールの共有化を徹底

市民のみなさんからのお問い合わせやご要望などに対し、スムーズな対応を行うため、行事や職員のスケジュールをパソコン内に入力し、職員だれもが共有できる仕組みを徹底しています。

【議会総務課、子育て支援課、学校教育課】



あいさつ運動の実施など

子どもたちが健やかにいきいきと成長してもらうために、人と人をつなぐ「あいさつ」を大切にして、子どもたちの元気な心を育てていく「あいさつ運動」の実施。また、子どもたちの明るい未来のために、水道の蛇口をしっかりと閉めることや無駄な電灯は点けないといった環境推進への取り組みなどを実施しています。

【各保育所・幼稚園】



業務改革改善運動
タンゴ
(TAN5lympic2008)

◎各職場の改善実行計画書については、市ホームページをご覧ください。
(<http://www.city.kyotango.kyoto.jp/shisei/shisei/gyokaku/gyokaku/tan5lympic/2008/index.html>)

市有財産の有効利用による積極的な財源確保

未利用の市の土地・建物の一般競争入札を実施

市では、将来的な利用計画がなくなった未利用の市有財産（土地・建物）を一般競争入札によって売却し、市有財産の活用による新たな財源確保をめざします。

平成十八年に設置した「京丹後市市有財産活用推進本部」では、市有財産の活用について、総合的な観点から再検討。行政的役割がなくなった財産について、それぞれの特性などを考慮のうえ、貸し付けまたは売却処分することでの活用を図り、それによって生

じた利益による財源確保を行うことにより、市民サービスの向上につながる新たな施策を実施していくことを基本的な考えとして、資産の有効活用に向けた取り組みを行っています。

平成二十年度は十三件の市有財産の一般競争入札を三月十六日に実施予定としています。



未利用の市有財産を売却し、財源を確保します

平成二十一年度以降の売り払いは、土地・建物あわせて約三十件、面積で約二万平方メートルを予定しており、売り払いの準備が整い次第、順次「広報きょうたんご おしらせ版」や市のホームページなどでお知らせすることとしています。

財政状況が非常にきびしい中、市では今後も、さまざまな観点からの財源確保に努めることとしています。

市有財産一般競争入札に関する
財産管理課（☎六九一〇一七〇）
お問い合わせ先

詳しくは3月10日発行の「第6版京丹後市バス・鉄道・航空時刻表」でご確認ください



主な改正点

鉄道

◆観光型列車「快速大江山タンゴ悠遊号」(福知山発～網野行)を新設

福知山駅で、大阪13:09発の「北近畿9号」と京都13:24発の「きのさき3号」からの乗り継ぎが可能(福知山発14:49発)

◆網野～宮津間を増便(朝の上り列車を増便、朝の下り列車を統合)

(増便) 網野7:32発(宮津8:18着)西舞鶴行(9:08着)
(統合) 網野7:34発と8:10発の豊岡行を統合。
→「網野7:48発～豊岡8:21着」を新設

◆丹後神野に特急列車の季節停車を継続



平成二十一年三月十四日からJRの春のダイヤ改正に伴い、北近畿タンゴ鉄道(KTR)および上限二百円バス(丹海バス・市営バス)のダイヤを改正します。

3月14日 鉄道・バス ダイヤを改正

多くのかたに
ご利用いただけるダイヤに

■上限200円バス(主に丹海バス)

〈高校生などからのアンケート結果などをダイヤ改正に反映〉

◆弥栄病院線 網野高等学校からの下校対応便を新設。弥栄方面・網野駅方面の下校利用が初めて可能になりました。

◆与謝の海病院線 峰山高等学校の登校時間帯に配慮。大宮町方面からの運行時間帯を10分繰り上げます。

◆海岸線 峰山高等学校への登校時間帯に1便増便(前回廃止便の復活)



風雨に強く 安心してバスを待っていただける箱型待合所



夜間照明や点字ブロック、大判の路線図マップ、木製ベンチ、強化ガラスを設置。同待合所は、京丹後建設業協会(上田俊六会長)の「何か地域に貢献できないか」との思いから、昨年に引き続き丹海バスへの財政支援をされて実現(昨年は網野駅前待合所)。デザインは、高見慧さん(峰山町・日本デザイン協会理事)の提案によります。

バス停 丹後庁舎前

地域のみなさんのご支援とご協力により、「丹後庁舎前」および「大宮ロードパーク」に屋根つきバス待合所が誕生しました。路線バス(上限二百円バスや快速バス(間人)京都駅間)を利用されるかたにとって、より快適で利便性の高いバス待合所としてご利用いただけます。

公共交通ネットワーク発展のシンボル 丹後庁舎前・大宮ロードパークにバス待合所完成

バス停 大宮ロードパーク

峰山高等学校・宮津高等学校・工業高校の生徒のみなさんが設計から製作までを連携して実施。ソーラーパネルや電波時計の設置、スタンドガラスの装飾などが施されています。

峰山高等学校機械システム科3年の楠田将太さん(右から2人目)は「僕たちがつくったものが地域の役に立つことができうれしい」と話してくれました。



京丹後の産業活性化に向けて 龍谷大学経済学部 学生の視点で調査

報告会 開催



京丹後地域の活性化に向けて、龍谷大学の学生のみなさんによる「京丹後地域産業活性化学生プロジェクト報告会」が、一月三十一日、京丹後市内のホテルで開催され、学生の視点によるさまざまなアイデアが提案されました。龍谷大学経済学部(辻田素子准教授ゼミ)では、市との協働により本市の産業活性化に向けてのフィールドワーク(産業調査活動)を実施されてきました。同報告会は、これらの調査結果およびそれに基づく提案を広く市民の

みなさんに知っていただくために開催されたもので、織物業・公共交通・農業(特産品)・観光の四つのテーマについて報告。「プロの若手デザイナーを対象に商品化することを前提とした、丹後ちりめんを使った製品の提案募集」、「鉄道・バスをレトロ化することによる交通手段自体の観光化」、「安心・安全な農産物のブランド化」、「スポーツ合宿の誘致」などのアイデアも提案されました。また、市内事業者のかたを交えたパネルディスカッションでは、学生の提案を受けての意見交換を実施。「鉄道・バスだけではなく、ほかの産業や地域資源との一体的な取り組みの重要性」や「出身者を京丹後にいかに呼び戻せるか、その仕組みづくりの必要性」などについての意見が出されました。同報告会に先立ち一月三十日には、御旅商店街フリーマーケット実行委員会との意見交換会も実施。「御旅市場復活祭」での学生による来場者アンケートの集計結果や、学生による企画事業の結果をもとに、空き店舗の活用や市場のイメージづくりなどについての提案が行われました。

地域資源を活用した まちづくりをめざし

「地域が元気になるまちづくり」講演会

開催

地域資源を活かした地域づくりを推進するため、徳島県上勝町で地域資源の商品化によるまちの活性化に大きく貢献された「(株)いろどり」の横石知二代表取締役副社長を招き、二月三日、アグリセンター大宮(大宮町口大野)で「地域が元気になるまちづくり」講演会が開催されました。



横石 知二 代表取締役副社長



約400人のかたが、聴き入りました

同講演会は、丹後半島の独自の歴史・文化、自然景観などの地域資源を活かした地域づくりを行うために、宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町で構成している京都府丹後半島振興期成会および、丹後地区広域市町村圏事務組合の共催。上勝町では横石さんを中心に、もみじやなんてん、かきなどの葉を地域資源としてとらえ、地域のかたとともに商品化の取り組みを開始し、昭和六十一年にまつまもの商品を開発・販売。現在では、年間売上高二億六千万円もの産業への発展に成功されており、これらの経験から「地域が元気になる」秘訣をわかりやすく解説されました。横石さんは、「地域にはそれぞれいいところがある。足元にある資源に気づくためには、地域のことを自分のこととして意識することが必要」と強調。また「どんなことでもあきらめずに、絶対にできると信じていることが大切」などと話され、参加された約四百人が熱心に聴き入りました。

久美浜高校

人の温かさ 平和への願い 責任ある行動

修学旅行で貴重な体験

2年生は、昨年11月11日～14日に沖縄へ修学旅行に行きました。「ひめゆり平和祈念資料館」、「沖縄平和祈念公園」などを訪れ、千羽鶴を奉納。かつて地上戦が行われた激しい戦争の地で、平和について深く考えることができました。



沖縄の伝統楽器「三線」に挑戦

伊江島で民泊



一番の思い出は、伊江島で民泊をしたことです。各家につき約五人ずつ宿泊しました。伊江島では島のみなさんから温かい歓迎を受け、家業体験や島内観光をしたり、沖縄の伝統的な民謡や三線(さんしん)を教えてもらったりなど、とても充実した滞在でした。沖縄の気温が暖かいように、沖縄の人々の温かさにふれました。

一人ひとりが責任を持って行動し、満喫した四日間となりました。本当に楽しく、高校生活の貴重な思い出の一つになりました。

韓国で国際交流

カヌー部

生徒会長・カヌー部副主将

後川 拳吾くん

昨年十二月二十七日～三十日、大韓民国瑞寧(ソウル)に高校を訪問し、カヌー部と交流しました。私を含め四人の部員と、校長先生、顧問の先生二人が参加しました。



韓国・瑞寧高校での室内練習

まず、瑞寧高校カヌー部のレベルの高さに驚きました。キャプテンは日本の国体優勝者と同レベルの力の持ち主で、「自分もがんばらない」と思われされました。現地は非常に寒く、カヌーを練習する貯水湖の水が凍ってしまい、室内練習のみとなりました。室内練習ができました。

私が久美浜高校カヌー部は、昨年インターハイや国体などいろいろな大会に出場しました。入賞した部員も、今後うでなかつた部員も、今後つながるとてもよい経験になりました。今年八月には「二〇〇九近畿 まほろば総体」のカヌー競技が、久美浜湾を会場に行われます。私たちがいつも練習している久美浜湾でよい成績を収められるよう、一丸となつてがんばっています。応援よろしくお願いします。

校内持久走大会

昨年10月31日、校内持久走大会が行われました。男子は約17km、女子は約14kmのコースで、元気よく学校をスタートしました。雨が降りそうな曇り空でしたが、暑くもなく走りやすいコンディションとなりました。



給水所ではPTA役員のみなさんにご協力いただきました

男女別に一斉スタートし、いきなり全力疾走で走る人、マイペースを保つ人、さまざまです。最初は



気温が低くてとても寒かったけど、走るうちに体が温かくなってきました。地域の方々が沿道で応援してくださり、パワーをもらいました。なんとか給水所に着いたとき、先生やPTA役員さんが飲料水をくれました。やつとゴールしたとき、自分の足が重く感じられ、ガクガクしてあまり歩けませんでした。やつぱり一七キは長いと思いましたが、さわやかな汗を流すことができました。

なお、三年生の月岡和馬くんが三年連続一位に輝くという偉業を達成しました。

朝読書週間

久美浜高校には、毎朝10分間の読書をする「朝読書週間」が年3回あります。この取り組みは、今年度で6年目になります。本を読むことはとても大切だと思います。新しい世界にふれ、視野が広がります。普段本をあまり読まない人にとって本にふれる貴重な時間なので、これを機に読書の習慣を身につけたいです。

久美高生の読書活動は活発です。京都府の高校の中でも、読書冊数の多さはトップレベルです。図書館の蔵書も充実していて、新着図書も多いので、図書館を訪れる人が絶えません。

久美浜高校図書館の「本の貸し出し状況」

貸出冊数(4月～2/9現在) ▶▶▶ 1,548冊

1人当たり ▶▶▶ 6.17冊

スキー・スノーボード実習

(1年・神鍋)



2月3日、雨降りというコンディションの中でスキー・スノーボード実習が行われました。

初心者も多く、不安な気持ちで臨んだ人もいました。しかし、インストラクターの先生方に丁寧に教えてもらい、コツをつかむと、最初は悪戦苦闘していた人もみんな楽しそうに滑っていました。お昼ごろになると、だんだん上達してきました。帰るころには、みんなが「もっと滑りたい!」と口々に言うほど楽しむことができました。

帰りのバスでは疲れて寝てしまいました。それは「みんながんばった」というしるしだと思います。翌日はみんな筋肉痛で…!充実した1日でした。

冬の風物詩



を先頭に真っ白な息を吐きながら「ワッショイ、ワッショイ」と勇ましい掛け声を響かせ約二キロを力走。間人漁港で小石六個を拾い、「三柱（みはしら）」「稲荷」「早尾（はやお）」の三神社に奉納し、一年の無病息災を祈願しました。急な神社の階段などを力走したみなさんは、疲労と寒さで顔を赤く染めながらも、年のはじめの伝統行事を無事終えたことに笑顔浮かべていました。



間人漁港で小石6個を拾った様子



化粧まわし姿で地域を駆け巡る

小雨の降る中、「ワッショイ」と威勢よく力走する若者たち

五穀豊穡と無病息災を願い（丹後町岡成）

〜百度打ち〜

小雨の降る寒さとなった二月一日、丹後町岡成地区で相撲の化粧まわしを着け、わらじ姿の若者が、威勢のよい掛け声とともに、間人地区を駆け巡る伝統行事「百度打ち」が行われました。

「百度打ち」は、毎年、節分近くの日曜日に行われ、五穀豊穡などを願う江戸時代から続く伝統行事。同地区は、相撲の巡業が行われることから「まわし」をつけるようになったと言われています。

この日、早朝六時半に若者八人が、岡成区多目的集会所に集合し、「立岩」「城嶋城」など間人の名所が入った「まわし」姿で出発。軍配をもった若者が

白銀の世界にシユプール

第二十三回丹後スキー大会を開催

第二十三回目を迎えた「丹後スキー大会」（主催・丹後スキー大会実行委員会）（会長・由良敏雄京丹後市スキー協会会長）が、二月八日にスイス村スキー場（弥栄町野中）で開催され、府内各地のスキーヤーが白銀の世界にシユプールを描きました。

同大会は、冬季スポーツの振興と青少年の育成を目的に、毎年二月に開催されています。年齢や性別で九クラスに組み分けされ、大回転競技により、全長約四

百メートルのコースを二回出走し、滑走タイムの合計を競います。

今年は昨年より約二倍の参加人数となり、京丹後市をはじめ、福知山市や宮津市などの小学生から社会人までの六十五人が出場。暖冬の影響で例年より積雪量が少なめでしたが、関係者のみなさんの懸命なコースづくりにより立派なコースが整備され、選手のみならず、豪快な滑りで旗門すれすれを通り抜けると、観客のみならず大きな歓声があがりました。



華麗なテクニックで旗門を滑走



ブルークでスピードをコントロールしながら滑走

クラス別大会結果

（敬称略）

【男子】	順位	氏名・住所	合計タイム	【女子】	順位	氏名・住所	合計タイム
小学生低学年	1	堀江 健太（京丹後市丹後町）	0,55.81	小学生低学年	1	高屋あかり（京丹後市網野町）	0,59.95
	2	細野 大志（宮津市）	1,08.17		2	井谷 梓（与謝野町）	1,12.97
	3	岡本 哲平（舞鶴市）	1,11.45		3	松尾 はな（京丹後市網野町）	1,22.38
高学年	1	矢野 広大（与謝野町）	0,47.78	高学年	1	平 菜那美（与謝野町）	0,53.83
	2	大内 翔（与謝野町）	0,53.38		2	矢谷季実子（京丹後市網野町）	1,03.50
	3	貝瀬 晴紀（宮津市）	1,02.33		3	谷口 夏穂（京丹後市丹後町）	1,03.61
中学生	1	柿原文太（京都市）	0,52.25	中学生	1	富田 彩乃（与謝野町）	0,58.89
	2	金久 将大（京丹後市弥栄町）	0,52.53		2	野見山真帆（京丹後市網野町）	1,10.81
	3	今井 裕登（福知山市）	0,53.75		3	小石原由貴（京丹後市網野町）	4,07.24
30歳以上	1	堀江 弘文（京丹後市丹後町）	0,45.62	高校生以上	1	井谷 礼子（与謝野町）	0,59.84
	2	大内 神二（与謝野町）	0,46.48		2	貝瀬 昌子（宮津市）	1,06.04
	3	杉本 照明（与謝野町）	0,46.60		3	伊藤記代子（宮津市）	1,06.55
40歳以上	1	長田 新一（京丹後市丹後町）	0,46.77				
	2	長澤 嘉之（宮津市）	0,47.23				
	3	今井 由紀（福知山市）	0,51.93				



力強い「ばちさばち」で浦嶋太鼓を披露

厄よけと家内安全を願い

〜浅茂川節分太鼓〜

（網野町浅茂川）

節分

分の伝統行事として毎年行われている「浅茂川節分太鼓」が、網野町浅茂川地区で厄年にあたる数え年三十六歳の男性が中心となり、二月二日・三日の二日間、勇壮な太鼓の音を響かせて町内を巡りました。

今年、昭和四十九年・五十年生まれのかたが「浅仙会（あさせんかい）」（田茂井裕幸会長・八人）を結成。昨年十一月から地元「浦嶋太鼓保存会」の指導のもと、厳しい練習を積まれてきました。「浅仙会」のみなさんと地元の有志のみなさんを含む計十二人は、地区内の家や事業所などを巡回。息のあった豪快な太鼓の音で、厄よけと家内安全、商売繁盛を祈りました。



大きなかけ声で太鼓の演奏を盛り上げる園児のみなさん

二月二日には、網野幼稚園（梅田津也子園長・四十四人）を訪れ、子どもたちの健やかな未来を願い浦嶋太鼓を披露。目の前で繰り広げられる力強い「ばちさばち」と、威勢のよい「ドッコイ、ドッコイ。ヨーウツ、ヨーウツ」のかけ声を子どもたちも一緒に大きなかけ声で太鼓の演奏を盛り上げました。

また、太鼓の演奏が終わった後、地区の有志のみなさん六人が鬼の面をかぶって登場。園児のみなさんはこわがりながらも、「鬼は外！」と元気に叫びながら豆を投げつけて鬼を追い払いました。

網野幼稚園で勇壮な太鼓の音を響かせる「浅仙会」（あさせんかい）のみなさん



消防本部・消防団・宮区の合同訓練により、迅速かつ的確な消火活動手順を確認

文化財防火デーとは

昭和24年1月26日の早朝、世界的な至宝であり、1,300年の歴史を持つ、日本最古の壁画が描かれた奈良県の法隆寺金堂が焼失し、社会的に大きな衝撃を与えました。
その後も文化財の火災が相次いだことから、「先人たちが残した文化財を火災から守ろう」という世論が高まり、昭和25年に文化財保護法を策定。また、消防庁と文化庁では、文化財を火災や震災、そのほかの災害から保護することを目的に、昭和30年に法隆寺金堂が焼失した1月26日を「文化財防火デー」と定めて、全国的に文化財防火運動を展開しています。

「文化財防火デー」（一月二十六日）にちなみ一月二十五日、丹後町宮の竹野（たかの）神社で、消防本部と消防団、宮区が合同で、貴重な文化財を火災から守る「文化財防火訓練」を実施し、参加された約五十人のかたが有事の際の活動手順を確認しました。
訓練は、「境内の裏山から出火し、火は本殿に向け延焼しはじめた。この火災で本殿や所有しているご神体などの美術工芸品などが焼損するおそれが大きくなった」との想定で実施

午前九時、竹野神社の宮司が一一九番通報を行い、火災サイレンにより駆けつけた区民のみなさんの協力を得て、ご神体や美術工芸品に見立てたダンボール箱の搬出を行うとともに境内の消火栓で放水。その後、駆けつけた消防署員、消防団員のみなさんが、放水を行いました。
防火訓練に参加されたかたは、凍てつく寒さの中にもかかわらず、迅速かつ的確に本番さながらの訓練を繰り返し、防火・防災への決意を新たにしました。

消防本部・消防団・地区合同防火訓練

安心・安全なまちづくり 貴重な文化財を火災から守る

府内初 多機能型消防車両を配備



山田知事から鍵のレプリカを受け取る羽賀団長



救助活動・救急資機材を装備した「多機能型消防車両」

「多機能型消防車両」は、宝くじの売上金をもとに同消防協会が平成十九・二十年度に各都道府県に一台ずつ（四十七台）モデル的に交付しているもので、京都府内では京丹後市へ配備されました。
同車両は、最新型のボデー構造で、広大なスペースと左右はガルウイング式扉（上方に開くドア）による全面開口となっており、狭い道路でもスムーズに資機材の取り出しが可能であるとともに、収納された資機材が安全に積み下ろしができるようになっていきます。
また、小型動力ポンプは、排気ガスに白煙が出ない環境にやさしい四サイクルエンジンを搭載しています。
市では、平成十六年の台風二三号や平成十八年の集中豪雨による土砂崩れで甚大な被害を受け、急傾斜地域などの危険な所が多く、常備消防の消防車が配備されていない丹後町間人（丹後第一分団管轄区域）に配備することとしました。
交付式で山田知事は「今回、同車両

平成十八年七月の集中豪雨による土砂崩れで甚大な被害を受けた丹後第一分団へ

丹後町間人地区

消火活動はもとより、地震・風水害などの大規模災害においても有効となるチーンソーなどの救助資機材やAED（自動体外式除細動器）、救急セットなどの救急資機材を標準装備した「多機能型消防車両」が、財日本消防協会から京丹後市消防団に寄贈され、一月二十八日、京都府庁で京都府山田知事から京丹後市消防団羽賀団長へ鍵のレプリカが渡されました。

を交付することにより、消防団活動が高度化に対応するための資機材の充実と寄与するものと思っております。今後さらに常備消防と連携いただき、地域住民のみなさんの安心・安全の確保に尽力いただきます」と激励。
交付状などを手渡された羽賀団長は「交付いただいた同車両は、丹後第一分団への配備となりますが、同分団は、強い熱意と指揮をもった分団でありまして、これを契機に全団員一丸となつて一層消防団活動に励んでまいります」と決意を述べられました。



ガルウイング式扉を全面開口した「多機能型消防車両」

「多機能型消防車両」が配備された分団を指揮する道家副団長の決意
万一の災害に備えて
訓練を重ねてまいります
今回、「多機能型消防車両」を丹後第一分団に配備いただき、誠にありがとうございます。
丹後第一分団の管轄区域は、平成十八年七月の大規模な土砂崩れで未曾有（みぞう）の被害を受けた地域です。近年、局地的な集中豪雨が多く発生するようになり、いつどこで大規模な災害が発生するかわからない状況となっております。
我々消防団員は、市民のみなさんが、安心して安全に暮らせるよう、常日頃から地域のパトロールを行うとともに、万一の災害に備えて、迅速な活動ができるよう配備いただいた車両を積極的に活用した救助訓練を積み重ねてまいります。



丹後町副団長 道家 徹 司さん

新型インフルエンザ発生を想定 医療機関・消防本部などが 対応を確認する訓練を実施

高病原性鳥インフルエンザの人への感染が世界的に広がっている中、新型インフルエンザが京丹後市内で発生したことを想定した対応訓練（京都府丹後広域振興局主催）が1月30日、市立弥栄病院（弥栄町溝谷）などで行われ、医療関係者・消防関係者のみなさん約70人が参加されました。



与謝の海病院へ搬送の訓練をする消防職員

関係機関との連携構築
北丹医師会・京都府・丹後二市二町（京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町）などが参加し、海外から帰国した会社員・大学生のかたなど五人が、H5N1型の鳥インフルエンザが変異して新型インフルエンザに感染したことが疑われるとの想定で訓練が実施されました。
訓練では、市民のかたから新型インフルエンザに似た症状があるとの相談を受けた丹後保健所が、弥栄病院での受診を指示。病院は、一般の患者のかたと切り離すため、病院裏の駐車場にある車庫に「発熱外来」を設置。感染防止のために防護服を着た医師と看護師が診断と処置を行いました。
感染の恐れがある患者のかた一人を第二種感染症指定医療機関の京都府立与謝の海病院（与謝野町）に模擬搬送し、そのほかの患者のかたも行政検査の結果が出るまで弥栄病院への入院などの処置が行われました。
訓練に参加した市消防本部職員は「各関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応訓練が行えました。訓練で見つかった課題を整理して、今後の対応マニュアルの作成に役立てたい」と話していました。

安心・安全

安心・安全

京都府のひろば

昨年9月号から、京都府で取り組まれています市民生活にかかわる事業などについてご紹介しています。

丹後地域で進めよう！

新型インフルエンザ対策

京都府丹後保健所では、近年、発生が危惧されている「新型インフルエンザ」について、医療機関や市町、消防などの関係機関と連携し、対策をすすめています。新型インフルエンザが発生すると感染拡大を防ぐため、通常のインフルエンザ以上に府民のかた一人ひとりの協力が必須となります。みなさんと情報を共有し、取り組みをすすめていければと考えています。

新型インフルエンザとは

十 四十年に一度くらい、新型のインフルエンザウイルスが出現しています。そのウイルスには、ほとんどの人が免疫をもたないため、次々と感染が広がります。さらに、交通機関の発達などから短期間に、世界中で爆発的な感染（パンデミック）を引き起こすと言われてい



1月30日、管内2市2町や弥栄病院、消防署などの関係機関が参加し、新型インフルエンザ患者が管内で発生し感染が拡がりつつあるとの想定で、訓練を実施しました。患者さんの相談受付から発熱外来での診察、入院や搬送などさまざまな手順を確認。今後は、新型インフルエンザ発生時の体制づくりを進めるとともに、訓練を重ねていこうと考えています。（関連:17ページ）

予想される被害は？

ウ イルスの毒性などにより、発症者数など被害は変わってきますが、過去の「スペインかぜ」などの例から、発症すると重症となることが予想されています。

また、世界中をほぼ同時に覆いつくす大災害のため、交通機関や会社、スーパーなどの社会機能が制限され、日常生活へのさまざまな影響が予想されます。

新型インフルエンザの対策は？

空 港や海港での検疫を強化し、感染している人の入国をできるだけ見逃さないようにするほか、府内で患者が一例発生した段階で、感染拡大を防ぐため、学校を休校にし、外出を控えていただくこととなります。

また、医療機関での感染拡大を防ぐため、専用の相談機関「発熱相談センター」を保健所に設置し、熱の出た患者さんは、協力病院に設置された「発熱外来」を受診していただくなど、特別な体制をとります。

個人でできる予防策

- ① 帰宅後の手洗い・うがいを励行しましょう。
- ② 栄養のある食事を心がけ、十分な睡眠をとり、体力と抵抗力をつけておきましょう。
- ③ 発熱、咳、くしゃみなどの症状があるときは、マスクを着用するなど、咳エチケットを心がけましょう。
- ④ 感染を防ぐために外出を控えることが望まれます。少なくとも二週間の食料、日用品、医療品などを備蓄しておきましょう。



保健所と振興局に、備蓄品のモデルを展示しています

- ⑤ 「知識のワクチン」を身につけましょう。発生時にパニックにならないで、冷静な予防行動ができるよう、新型インフルエンザについて正しい知識と情報を持ちましょう。毎月「新型インフルエンザNEWS」を発行しています。

■お問い合わせ先
京都府丹後保健所保健室
(☎六二一四三二二)

京丹後市の未来を担う

研修生だより

市では、平成十八年二月に策定した「京丹後市職員人材育成方針」に基づき、分権型社会への移行に対処できる専門性を備えた職員を育成するため、将来の京丹後市を担う人材育成の一環として、実務研修を通じた政策形成能力や行政経営能力の習得を希望する意欲的な職員を募り、総務省、経済産業省、京都府、財団法人自治体国際化協会などへ職員を派遣しています。

そこで今回は、京都府での研修状況や業務内容、これまでの感想などについてご紹介します。

立場を変えてみて

研修先の状況

私が昨年四月から研修を行っている「京都府総務部自治振興課」は、行政担当・地域力再生担当・企画担当及び税財政担当の四係で構成されており、行政、地域力再生事業、権限移譲や未来づくり交付金事業、地方交付税をはじめとする税財政の関係報告書のとりまとめ、地方債などを通じて、市町村の行財政担当の

かたと接する機会が多い職場です。また、毎年府内の市町村から実務研修生を受け入れており、平成二十年度においては三市三町から六人が実務研修を行っています。

私の仕事

私は、「税財政担当」に配属され税務の仕事を担当しており、国への報告が法律によって規定されている固定資産の価格などの概要調査など税務に関連した各種調査の説明およびその取りまとめを行っています。また、研修生は通常業務のほかに、京都府で行われている各種事業や、地方自治制度に関する研修のプログラムがあり多くの研修を受講しています。

これまでの感想

四月以降、市町村からの報告のあった内容の確認や集計、指摘や指示、また十月以降に検査官として行った市町村の交付税検査で感じたことは「整理」と「違和感」です。行う業務の大半は初めて触れるものであり、取りまとめ業務においては二十六市町村からほぼ同時に報告

されることから、資料の整理、進め方や進行の度合いを整理して、係の上司に相談し事務を行うことや、各市町村の税財政担当のかたに指摘などを行う際は、根拠を明確にし、自分でできっちり消化してから説明することが求められ、当然のことかもしれませんが、大切なことだと折に触れ思い、実感しています。

また、当初、京都府へ書類の報告をする立場から市町村へ照会を行う立場へ、質問を行う立場から回答する立場への変化に戸惑いましたし、研修期間が半年を超えた今でも違和感のようなものを感じる時があります。

京丹後市に帰任してどの部署に配属されても、京都府の職員のかたと連携もしくは、良好な関係を築く必要があり、実務研修生としてその立場をかじったこと、得た知識や違和感が、次につながる知恵となればと考えています。

研修期間は三月末までですが、時間を大切に業務および知識の習得に励んでいきたいと考えています。

総務部税務課

主事 和田 慎太郎

研修先

京都府総務部自治振興課

研修期間

平成20年4月から1年間



あなたの健康
応援します

健康ひとくちメモ

おいしく食べて
楽しくおしゃべりしましょう

～お口の健康に～

介護予防のための検診「生活機能評価」の結果、運動機能の低下について多い項目がお口の機能低下です。多くの高齢者のかたが「固いものが食べにくくなった」、「食べ物飲み込むときにむせる」、「口の渇きが気になる」という問題を抱えておられます。お口の健康は、「おいしく食べる」、「楽しく会話する」そして『低栄養や誤嚥（ごえん）性肺炎を予防する』ためにとても大切なことです。いつまでもお元気に過ごしていただくため、今日からお口の体操を始めましょう。

お口の健康度を チェック

- ① ほほを膨らましてみる。右側、左側、両方のほほを膨らませてみてください。うまく膨らまない、口角（口の端）から空気がもれることはありませんか。
- ② 口の中にたまった液（つば）を三〇秒間に三回以上のみこむことができますか。
- ③ 「パンダのタカラもの」とはつきり言えますか。



「パ」・「タ」・「カ」・「ラ」は、口唇・舌の動きが悪いとはつきりと発声できない発音といわれています。

顔面体操

唇やほほなどの顔の筋肉を動かします。だ液（つば）の分泌がよくなるだけでなく、表情が豊かになり、話す、噛むなどの動きもよくなります。

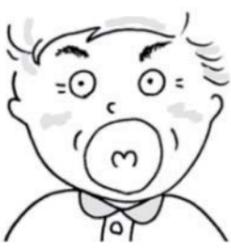
1 ん

目を閉じて、くちびるをしっかりと横に引き「ん」と言う



2 あ

口と目をしっかりと開いて「あ」と言う



3

くちびるをしっかりと閉じて左右交互にほほをふくらませる



4

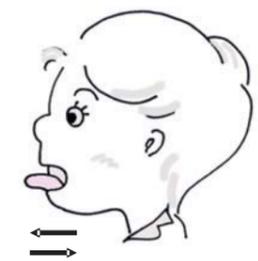
くちびるをしっかりと閉じて左右同時に、ほほをふくらましたり、すぼめたりする



舌体操

食物を噛んで飲み込むためには、舌が自由に動く事が大切です。舌が動くことでだ液（つば）の分泌もよくなり、脳への刺激にもなります。

1 口を開けてする体操



① 口を開けたまま舌を出したり入れたりする



② 舌を上下に動かす



③ 舌を左右に動かす
④ 舌をぐるりと回す

2 口を閉じてする体操



① 舌で内側から上くちびるを押す



② 舌で内側から下くちびるを押す



③ 舌で内側から右ほほを押す
④ 舌を内側から左ほほを押す
⑤ 舌を内側でぐるりと回す

ご紹介した体操は、だ液（つば）の分泌をよくして口の中を滑らかにし、食事のときのむせを少なくします。食事の前に、できるだけ毎回行ってください。

○資料：「お口の健康を守る！」（丹後お口の健康を考える会 <http://www.nao-2004.com/tankenai/>）
○イラスト：中西直美さん 提供

やってみようお口の体操

ごつくん体操

食物を飲み込むときには、お腹、背中、胸の筋肉を使います。さらに上半身がリラックスしていたほうが、飲み込みが楽になります。深呼吸、肩、首の体操をして飲み込みに使う筋肉を鍛えましょう。

1 深呼吸

ゆったりとした姿勢で、お腹に手を当てて、鼻から息を吸い込み、吐くときは口をすぼめてゆっくり口から吐きましょう。



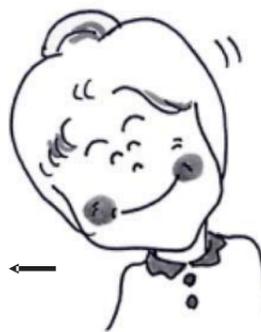
2 上半身のリラックス体操

両肩を持ち上げては、すっと力を抜いて降ろす



上半身を伸ばそう

- ① 右手首を左手で持って、左へ引きながら体を左へ傾ける
- ② 左手首を右手で持って、右へ引きながら体を右へ傾ける



首の運動

- ① 左右前後に傾ける
- ② 左右を向く
- ③ 大きく回す

健康ひとくちメモ

健康ひとくちメモ

市長に地域振興施策を提言

「峰山町地域まちづくり協議会」から、地域振興施策を提言いただきました。同協議会では、平成19年6月の設置から幾たびにもわたり、前身である「地域振興協議会」が市長に対して提言された内容も踏まえながら、まちづくりについて熱心に協議を行っていただいています。提言書の概略は次のとおりです。

2月19日 峰山町まちづくり協議会



提言

■ 小西川プロムナード（小西川散歩道）整備

（一）市民協働のまちづくり
（二）交流と健康のまちづくり
（三）市民の手づくり・物づくりのまちづくり

■ 提言についての現状と今後の展開
峰山の市街地を東西に貫く小西川は、市民の憩いの場として心のよりどころになっています。本提言では、「小西川プロムナード（小西川散歩道）」を、市役所峰山庁舎から峰山大橋までの区間を整備することを想定しています。

この付近の小西川は、左に市街地、右には水田があり、前方遠く小原山をはじめとする山並みを望みながらほぼ直進して緩やかに流れています。川沿いの道路には、早朝から健康づくりに腕を振りさっそうと歩くウォーキング愛好者のかたや、元気に登下校する小・中学・高校生・通勤途中のビジネスマンのかたなど、常に市民のみなさんの往来があります。

前協議会の提言では、めざす「まち」のコンセプトとして「歩いて楽しいまち」を掲げています。本協議会では、そのコンセプトを受け継ぎ、市民参加と協働による手づくりの手法を基本に

して、町内の団体による推進母体の立ち上げと、その推進母体を拠点にした「小西川プロムナード（小西川散歩道）」の青写真を描きました。

このうち推進母体については、地元区長のみなさんと意見交換会を実施するとともに、町内の各種団体にも協力を呼びかけて賛同を得ることができました。また具体的な立ち上げの段階には至っていませんが、今後も引き続き推進母体設立に向けた取り組みを行っていくことにしています。

また、このプロムナード整備により、少し上流に位置する御旅市場の復活祭に始まり、川沿いの桜並木を通って福祉事務所前のポケットパークへ、そこからプロムナードを経て最後は峰山駅へと続く、小西川の流れに沿った東西の人の流れが生まれるものと考えます。

この計画の実現には、市民と市行政による協働の取り組みが不可欠となります。計画推進にあたって積極的な市民参加と地域の協力をお願いするとともに、さまざまな市行政の助言や支援を求めるものです。

■ 整備の具体的内容

（一）京丹後市役所峰山庁舎横から峰山大橋までの小西川右岸沿い、約八五〇メートルとする。

（二）路面、植栽、照明、休憩所等の整備は、市民協働と市民参加をめざす。



小西川プロムナード整備のイメージ図

- 具体的検討事例
- 路面 → カラー舗装が望ましいが、少なくとも雑草の生えにくい歩きやすい状態にする。
 - 植栽 → 親しみやすく、強い花にする。
 - 照明 → ソーラーパネルのフットライトにする。
 - 休憩所 → 最低二か所、手づくりベンチなどを置く。
- 行政への期待
- （一）まちづくりを推進母体とともに押し進めること。
 - （二）推進母体への人的協力と財政支援を行うこと。
 - （三）整備実現に向け、次年度事業として市民協働部門へ引き継ぐこと。

市内の温泉地が満足度で

全国第2位に

市内各地で湧き出す温泉は、京丹後市が誇る美しい景観とあいまって、本市の「癒し」と「やすらぎの空間」の一つとして、市内外から人気を集めています。郷土の歴史や伝説に思いを馳せながら、海の幸、山の幸を楽しめるなど、京丹後市ならではの楽しみを満喫することができます。

そのような中、全国的な旅行情報雑誌2月号の「みんな満足温泉地ベスト50」と題したランキングで、浜詰夕日ヶ浦温泉が第2位に選ばれました。

同ランキングは、最近1年間で訪れたことのある温泉地のなかで、満足したかたが多い度合いを集計されたもので、関係者のみなさんのご努力と、京丹後市の観光の魅力の高さが伺えます。



旅行情報誌のランキングで第2位に

夕日に染まる浜詰海岸

共同募金運動へのご協力ありがとうございました

【京丹後市共同募金会・京丹後市社会福祉協議会】

平成20年度共同募金運動（赤い羽根募金）および、歳末たすけあい募金におきまして、下記のとおりご協力をいただき、ありがとうございました。みなさんから寄せいただいた赤い羽根募金は、平成21年度の京都府内福祉施設の整備や京丹後市社会福祉協議会が行う、地域福祉事業などに使われます。

また、歳末たすけあい募金は、京丹後市社会福祉協議会により昨年末に、支援を必要とするかたが地域で安心して暮らすことができるよう、特別にお困りのかたに配分させていただきました。

赤い羽根共同募金のホームページ「はねっと」(<http://hanett.akaihane.or.jp/sys/frame.asp>)で、詳しい配分内容をご覧ください。

赤い羽根募金 9,912,935 円
歳末たすけあい募金 8,281,358 円

京都府丹後文化会館イベント情報

お問い合わせ先 ☎ 62-5200

丹後映画大好き劇場 NO.18 「おくりびと」



前売券好評発売中!

上映日 4/26(日)

第31回米国アカデミー賞 外国語映画賞受賞

おくりびと

「おくりびと」の題字は平野克己さん(京丹後市網野町出身)が書かれました。

- ◎ 場所 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
- ◎ 上映開始 ①10:00 ②14:00 ③18:30 (上映時間:2時間10分)
- ◎ 入場料 ○一般 前売1,000円(当日1,300円)
○高校生以下 前売・当日800円
○シニア(60歳以上) 前売1,000円(当日1,100円) ※要証明
- ◎ 主催 (財)京都府丹後文化事業団

あなたの声を市政に ご意見箱

紙面の都合によりご意見を一部割愛させていただきます。

Q 防災行政無線の音楽と市民局からの放送について

防災行政無線の音楽について、現在、網野町では、十一時に「エーデルワイス」が流れてきます。この音楽は、今後も継続して流す予定でしょうか。この音楽を聞いておられる家庭では、飽きたというのを聞いていますので、新しい曲にリニューアルされてはいかがでしょうか。

また、平成二十年十月二十九日の十九時四十五分に網野町で弥栄市民局からのお知らせが放送されました。網野町では、水曜日は放送がない日と思われませんが、なぜ、放送されたのか理解できませんので、原因を調査していただき、今後はこのような放送がないようしっかりとした防災行政無線の放送をお願いします。

【市内 男性】



新たに市役所に設置したデジタル防災行政無線の操作卓を操作する様子

A お昼の時報としての音楽は、リニューアルして放送します

防災行政無線では、お昼の時報として音楽を流していますが、平成二十一年二月一日から定期的に音楽をリニューアルして放送することとしました。

また、十月二十九日の夜に網野町で弥栄市民局からのお知らせが放送されたことについては、防災行政無線により各市民局から曜日を指定して放送を行っているところですが、弥栄市民局で登録した地域の設定に誤りがあり、放送が流れたものです。

A 地域公共交通会議で平成二十二年三月十四日から再運行することに決定しました

市では、丹後海陸交通(株)との協働運行により、平成十八年十月から上限二百円バスの実証運行を開始し、より多くのかたに乗っていただき、喜んでいただけるバス交通「分かりやすく、使いやすい公共交通」の実現をめざして、従来にはなかった大幅なダイヤ改正を積極的に行っているところだ。

その中で、限られた車両と運転手の配置を工夫しながら運行しており、これまでから市内全体の便数を一度として減少させることなく、ダイヤ改正を行ってきました。もちろん、ダイヤ改正に当たりましては、全体としての利便性の向上を目的として

ご迷惑をおかけしたいへん申し訳ありませんでした。今後は、担当職員の指導を行っていくとともに、設定後には再確認を必ず行うなど、間違った曜日に放送しないようにしていきますのでご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

【総務課】

Q 放課後児童クラブの利用時間について

来年から小学生になる子どもがいるのですが、放課後児童クラブは、十八時までの利用時間で、親もしくは祖父母の迎えでないと利用することができないと聞きました。十八時までの利用となると、私は仕事が遅くて十八時には迎えに行けません。保育所は、十九時まで延長保育があるので、仕事が終わってから迎えに行くことができますが、放課後児童クラブの十八時では、迎えに行くことができません。

十八時に迎えに行ける親ばかりいらないと思いますので、もう少し子育てに配慮した時間での放課後児童クラブの運営をお願いしたいです。

【無記名】

A 平成二十一年度から時間を十分延長し、十八時三十分まで運営します

放課後児童クラブは、保護者のかたの就労などにより放課後の家庭保育が欠ける児童に対し、遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成を図ることを目的として実施しています。

児童の迎えについては、安全面の確保という観点から基本的に保護者のかたとしていますが、やむを得ない場合については、事前に連絡をいただいた場合に限り、保護者のかた以外の迎えでも許可をしている場合があります。

利用時間については、利用者のみなさんのニーズにお応えするため、平成二十一年度から時間を三十分延長し、十八時三十分までにするにとしました。

なお、利用希望者が増加している中、

実施しているものでありますが、常に反省とチャレンジ、「需要の掘り起こし」の繰り返しであります。

また、上限二百円バスを利用したくても、利用できない地域にお住まいの高校生や高齢者のみなさんも多くおられ、こうした交通空白地の解消も大きな課題となっております。

今回、平成二十年十月のダイヤ改正におきましては、ほかに要望の多かった便を設置するために、丹後海陸交通(株)と利用状況を確認し、利用の少なかつたご指摘の便を廃止して振り替えたものであります。

今回、ご指摘いただきましたように、これまでの利用者のみなさんにご不便をおかけしており、高等学校への事前説明も十分ではなかったため、この点について深く反省するとともに、平成二十一年三月のダイヤ改正について、平成二十一年二月二十日の「京丹後市地域公共交通会議」において



放課後児童クラブで元気に遊ぶ子どもたち

Q 上限二百円バスの減便について

峰山高等学校に通学している生徒の母親ですが、十月一日から、十九時ごろの網野から峰山行き(経ヶ岬から網野経由の峰山行き)が減便されたいへん困っています。

これから雪が降る季節になり、寒さが厳しくなる頃に減便されてしまい、子どもも自転車通学を余儀なくされていますし、親も送迎などでたいへん負担が多くなりました。

この便には、学生以外にもかなりのかたが毎日乗車されていたと聞いています。それなのになぜ廃止されたのか理解できません。また、峰山高等学校には廃止することを事前に連絡していただいたのでしょうか。突然の減便で、たいへん不親切なことであると思いました。

この時間のバスは、市民のみならずにとつて必要不可欠な便となっておりますので、三学期が始まるころに

「ご意見箱」投稿に際してのおねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとしています。ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確で丁寧な回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。



平成21年2月20日に開催した「京丹後市地域公共交通会議」の様子

【市民課】

協議した結果、ご指摘の便は再運行することに決定しました。ダイヤ改正にあたりましては、国・府への申請や市の予算措置および丹後海陸交通(株)の車両や運転手の確保など、さまざまな調整が必要となりますが、今後とも市民のみなさんに利用していただきやすいダイヤに努めていきたいと思っておりますのでご理解いただけますようよろしくお願いいたします。



日本海側最大の前方後円墳「網野銚子山古墳」

今年度の調査は、これまで調査が行われていなかった海に面した古墳の北西側について、古墳の裾部分の場所を確定し周辺に溝などの施設がつけられているかどうかを確認すること、網野銚子山古墳の周りに築かれた二つの陪塚（ばいちょう）・ほぼ同じ時期、計画的に周辺に築造されたと思われる小型の古墳）のうち

全長一九八メートルで日本海側最大の前方後円墳・網野銚子山古墳（国史跡）で、市教育委員会が行っていました発掘調査についての現地説明会を、一月十日に行いました。将来の史跡整備に向けた取り組みの一つとして、昨年度に引き続き実施していたものです。

現地説明会を開催

範囲確認調査

国指定史跡 網野銚子山古墳

京丹後市の文化財 四三



範囲確認調査 墳丘斜面

南側にある小銚子古墳付近に古墳のつくられたときに、どのように整地されたかを知るために調査を行いました。後円部の墳丘に築かれていた三段のテラス（平らな面）のうち、一番下のテラスから裾にかけて設定した調査区のうちの一つでは、墳丘テラス上に据えられた円筒埴輪（えんとうはにわ）が、倒れ込んで砕けたままの状態で見つかりました。出土した埴輪は、上の口が丸くすばまった「丹後型円筒埴輪」であり、埴輪の中には模様や絵が描かれて



範囲確認調査 墳丘斜面に積まれた葺き石

いたものがあることがわかりました。また、墳丘斜面に積まれた葺き石がともよい状態で残存しており、古墳がつくられた時と比べ自然崩落はあるものの、基底部以外はほとんど手を加えられていない状態でした。葺き石は、径二〇〜三〇センチ前後の河原石が使用されていたことが、葺き石の下に見つかった葺き石の裏込め石の大きさの石があることがわかりました。場所によって石の積み方を変えている可能性があります。また、海に面した部分の古墳裾は地山（じやま・人為的な改変を受けていない地層）を削り、ほぼ水平に整えてあることがわかりました。過去の調査で、古墳の南東側は古墳に沿って周濠が巡らされていたことが分かっていましたが、周濠は古墳の周り全体を巡っていたものではないように、海から古墳を見たときに、裾周辺を整地したものと考えられます。

説明会は、雪まじりのあいにくの天候でしたが、京都や大阪からも駆けつけた考古学ファンのかたなど約五十人が集まり、担当職員の説明に聞き入っていました。

市立図書館 ご案内

★ 保育所の子どもたちの絵を展示しています

あみの図書館

あみの図書館では、昨年秋ごろから毎月、網野町内の保育所の子どもたちの描いた絵を展示しています。家族揃って来館され、絵の前で記念写真を撮る光景なども見られました。2月は、浅茂川保育所の子どもたちの元気いっぱいの鬼の絵でした。

絵本『じごくのそうべえ』などの、鬼の出る絵本を担当の保育士から何度も読み聞かせしてもらった経験を重ね、イメージを膨らませてから、みんなで楽しんで描いたそうです。来館された多くのかたも、子どもらしい表情豊かな鬼の絵に目を細めておられました。



あみの図書館の入り口で展示

★ 蔵書点検のため 臨時休館します



市立図書館では、年に一度、図書のデータと実際の資料が一致しているかなどを点検する『蔵書点検』を実施しています。「本の棚卸し」とも言えるこの点検は1冊ずつの作業になり、たいへん時間がかかるため、次のとおり臨時的に休館させていただきます。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

図書館(室)名	休館期間
あみの図書館	4月6日(月)～9日(木)
大宮・弥栄図書室	4月8日(水)～9日(木)
峰山図書館	4月13日(月)～15日(水)
丹後・久美浜図書室	4月14日(火)～15日(水)

★ さらに便利になりました 峰山図書館ブックポスト

峰山図書館

峰山図書館では、図書館が閉まっているときに本を返す「ブックポスト(返却ポスト)」を、これまで峰山地域公民館の玄関内側に設置していましたが、昨年末から玄関外側に移動しました。24時間返却でき、便利になりました。どうぞご利用ください。



おすすめの本



『星野道夫と見た風景』(新潮社)

星野道夫・星野直子(著)

19歳のとき、アラスカの写真集を見て、シシュマレフ村を訪問したいと村長に手紙を送った。半年後に、村長本人から訪問を歓迎する旨の返事が来て、翌年の夏、日本から何回も航空機を乗り継いでシシュマレフ村に渡航する。それ以来、アラスカの写真を撮り続けた星野道夫さんは、あるテレビ番組のため滞在していたロシアのカムチャツカ半島南部のクリル湖畔に設置したテントでヒグマの襲撃に遭い、44歳で死去しました。

道子夫人が結婚生活5年半の間に撮影に同行した作品が多く掲載され、追想を通して星野道夫さんのアラスカの自然や動物、人間に対する深く温かい愛情が感じられる本です。星野道夫さんの著書は市立図書館に多数あります。ぜひ読んでみてください。

3月の休館日

16日(月)・23日(月)・30日(月)

4月の休館日

1日(水)・6日(月)

＜蔵書点検のため臨時休館＞

あみの図書館 4月6日(月)～9日(木)
大宮・弥栄図書室 4月8日(水)～9日(木)

※休館日は、3月10日以降から次号発行日の4月10日までを掲載しています。



約300人により校歌を合唱

同窓会で広がる ふるさとの輪

峰山高等学校
同窓会京都支部
懇親会

同窓会は、京都府の綾部市以南および滋賀県に在住のかたを中心に約二千五百
び母校を同じくされる仲間」として世代を越えて交流されました。

同支部は、京都府の綾部市以南および滋賀県に在住のかたを中心に約二千五百

人の峰山高等学校卒業生のかたで組織。平成四年から毎年懇親会を開催されています。

同懇親会へは、参加できる卒業年度を毎年一年ずつ繰り下げており、今回は昭和五十四年三月に卒業された第三十一期生までのかたが対象。会場のあちこちで懐かしい出会いや、楽しい会話が交わされ、笑顔が絶えることがありませんでした。

また、卒業年度毎に記念撮影を行ったあと、全員で同校校歌を斉唱。約三百人による大合唱は迫力満点で、会場はおいに盛り上がりました。

京丹後ふるさと応援団の 呼びかけなども行われました

参加された会員の中には「京丹後ふるさと応援団」に加入されているかたもおり、応援団のパンフレットが配布され



世代を越えて323人のかたが参加

るなど、「ふるさとの応援への参加」も呼び掛けられました。また、井塚支部長は「京丹後ふるさと応援大使」としてご活動いただいています。同じく大使としてご活躍いただいている田中賢一同支部事務局長などとともに、会場のあちこちで「写真付きPR名刺」が話題に。ふるさとの風景を見て、思い出話に花を咲かせておられました。

今回ご紹介した峰山高校だけでなく、さまざまな同窓会が各地で開催されています。これから同窓会などを企画されているかたや参加を予定されているかたは、ぜひ「京丹後ふるさと応援団」の取り組みをご紹介ください。

人口・世帯数

男	30,222人 (-16)
女	32,230人 (-31)
計	62,452人 (-47)
世帯数	22,076世帯 (+1)
(2月1日現在・()内は前月比)	

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報広聴課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
☎0772-69-0110 FAX.0772-69-0901
ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp